

【危害・危険情報】

令和元年 7月5日
生活文化局

高齢者の熱中症が多くなっています！ エアコンや扇風機を点検し、適切に使用しましょう！

東京消防庁によると、平成26年から30年の5年間（各年6月から9月）に22,015人が熱中症（疑い含む。）により救急搬送されています。平成30年の救急搬送人員は、7,960人で、65歳以上の高齢者が約半数を占めています。また、月別では、各年とも7月、8月に多く発生しています。

熱中症を防ぐため、無理せず具合が悪くなる前にエアコンや扇風機などを使いましょう！

一方、7月、8月はエアコンや扇風機による事故も多く発生しています。使用前には、製品表示の確認や点検をしましょう。以下のような異常に気づいたら、使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店またはメーカー等に相談しましょう。

製造年と設計上の標準使用期間を確認しましょう。



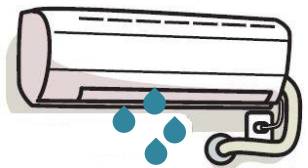
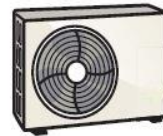
【製造年】20XX年
【設計上の標準使用期間】△△年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

<表示サンプル>

エアコンと扇風機は、経年劣化による重大事故発生率は高くないものの、事故件数が多い製品として、「長期使用製品安全表示制度」の対象品目となっています。

エアコンの点検ポイント

- ① 電源コードやプラグが異常に熱い。
- ② 電源プラグが変色している。
- ③ 焦げくさいにおいがする。
- ④ ブレーカーが頻繁に落ちる。
- ⑤ 架台や吊り下げ等の取付部品が腐食していたり、取付けがゆるんでいる。
- ⑥ 室内機から水漏れがする。



ポタポタ

扇風機の点検ポイント

- ① スイッチを入れても、ファンが回らない。
- ② ファンが回っても、異常に回転が遅かったり、不規則
- ③ 回転するときに異常な音や振動がする。
- ④ モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。
- ⑤ 電源コードが折れ曲がったり破損している。
- ⑥ 電源コードに触れると、ファンが回ったり、回らなかったりと不安定



【詳しい情報はこちら】

熱中症に注意！（東京消防庁、令和元年5月24日報道発表資料）

<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-kouhouka/pdf/010524.pdf>

経済産業省ホームページ>製品安全ガイド>（トピックス）長年ご使用の家電製品にご注意下さい

https://www.meti.go.jp/product_safety/index.html

その他の危害危険情報はこちら。

東京暮らしWEB

<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/kigai.html>

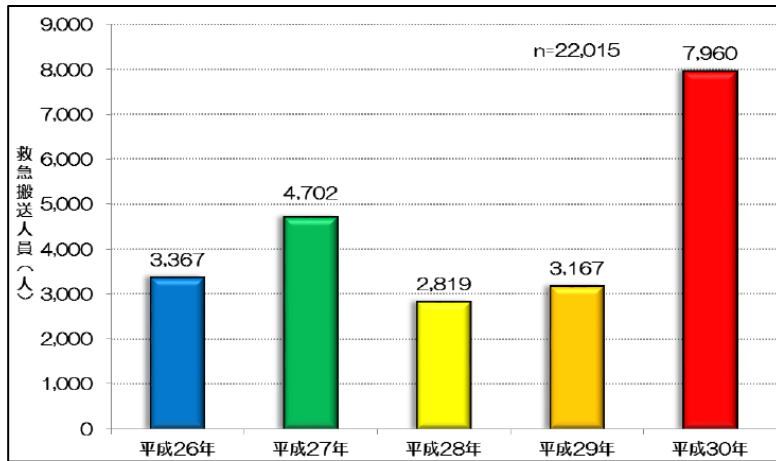


問合せ先

生活文化局消費生活部生活安全課

電話 03-5388-3082

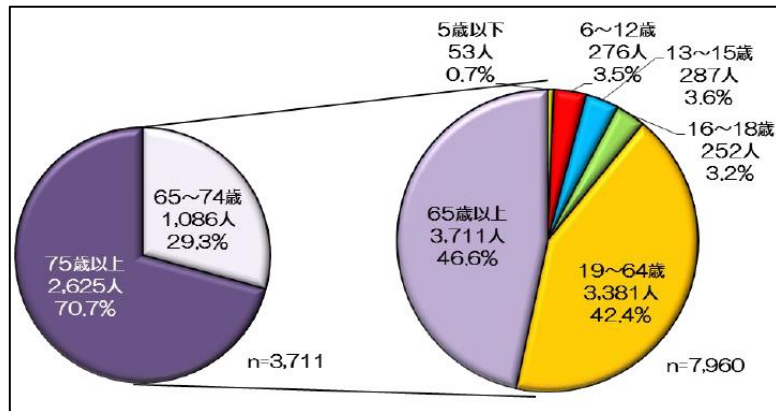
(参考データ)



平成30年の熱中症による救急搬送人員は過去5年間で最高の7,960人で平成29年と比較すると4,793人(前年比251%)と大幅に増加

過去5年間の熱中症による救急搬送人員(各年6月～9月)

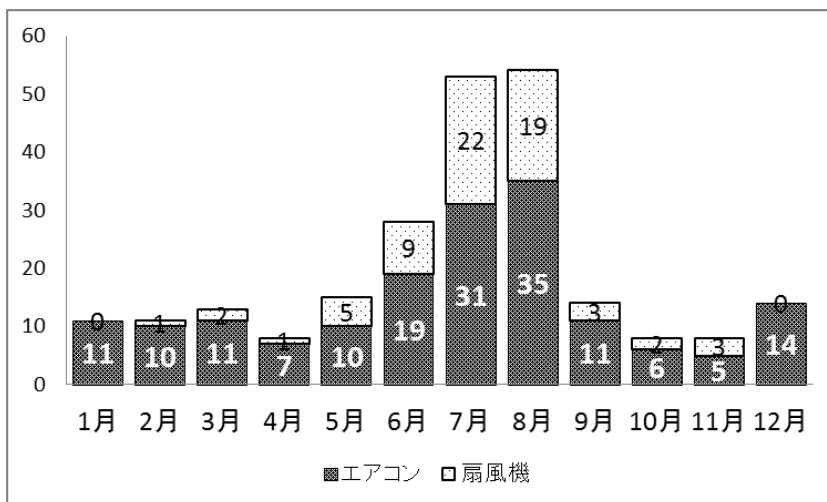
<熱中症に注意!(東京消防庁、令和元年5月24日報道発表資料)>



65歳以上の高齢者が3,711人で全体の約半数を占め、そのうち約7割にあたる2,625人が75歳以上の後期高齢者

年齢区分別の救急搬送人員(平成30年6月～9月)

<熱中症に注意!(東京消防庁、令和元年5月24日報道発表資料)>



エアコン、扇風機の事故は7月、8月に多く発生

月別のエアコン及び扇風機の事故

<事故情報データベース検索結果から都が集計>

検索日: 令和元年6月11日。検索条件: (エアコン) 商品など分類 = 生活家電 かつ 商品など名称 = エアコン かつ 発生年月日 = 2014年01月01日から2018年12月31日まで かつ 発生場所(施設用途) = 住宅。(扇風機) 商品など分類 = 生活家電 かつ 商品など名称 = 扇風機 かつ 発生年月日 = 2014年01月01日から2018年12月31日まで かつ 発生場所(施設用途) = 住宅。※発生月が不明な事例を除いて集計